

令和7年10月2日

保護者の皆様へ

宇部市立西岐波中学校

校長 中村 好弘

## 令和7年度全国学力・学習状況調査結果について

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

4月17日(木)に実施しました全国学力・学習状況調査について資料提供がありましたので、以下のとおり分析結果をお知らせします。

全国学力・学習状況調査は、生徒の学力や学習状況を把握・分析して、指導や学習の改善等に役立てるために実施されています。調査によって測定できるのは、学力の一部ではありますが、その結果からは、学習の定着状況や学習への取組等様々な傾向や課題がわかり、学校における指導の改善に活用しています。

### 1. 各教科の結果から

#### (1) 教科別の平均正答率

	国語	数学	理科
西岐波中	54.0%	50.0%	2.7/6
山口県	55.0%	48.0%	2.9/6
全国	54.3%	48.3%	2.9/6

※理科は、IRTという別の集計方法を用いているため、平均正答率での比較。

#### (2) 正答率から見える本校の傾向

	国語	数学	理科
成果	基礎的な事柄(漢字、意味、人物像)についての読み取りは県、全国平均より高い。	ほぼすべての領域、観点で全国平均と県平均を上回る。説明を問う問題で全国より+15%である。	物理的分野の「エネルギー」に関する問題で平均を大きく越えた。
課題	根拠や理由の説明、わかりやすく伝える工夫、効果の説明など一歩踏み込んで自分の考えを説明すること。	無解答率が高い。読み取ったことを用いて、新たな問題を解くこと。	各領域を含んだ大問の正答率が低いことから、学習内容が生活に置き換えられて理解すること。
今後の取組	目的意識をもって、表現の骨子を組み立てる場面を授業の中で仕組む。	数学が苦手な生徒への細かな声かけとグループによる教え合う時間の確保をする。	学習内容が生活の中のどの部分に活きているかを押さえ、興味・関心、主体的な学習へつなぐ。

## 2. 生徒質問紙の結果から（全国平均との比較）

### 【成果が見られた質問項目】

◎毎日、同じくらいの時刻に寝ている	+6.7%
◎学校の授業時間以外に、普段、1日当たりの学習時間（2時間以上の生徒の割合）	+4.1%
◎困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる	+17.1%
◎道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる	+5.3%
◎国語の勉強は得意	+9.9%
◎数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っている	+22.7%
◎理科の授業では、自分の予想（仮説）をもとに観察や実験の計画を立てている	+7.9%

### 【課題が見られた質問項目】

△地域の大人に、授業や放課後などで勉強やスポーツ、体験活動に関わってもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある	-8.2%
△1、2年の時に受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用したか	-19.6%
△自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理することができる	-6.5%
△自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーションを作成することができる	-16.0%
△総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集めて整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる	-7.4%

## 3. 分析結果より考察

教科別の平均正答率では、昨年度に比べ、国語は県平均との差が3ポイント縮まり、数学においては、どの分野においても県平均以上の正答率が見られました。各教科への授業に対して一定の前向きな感情が質問紙からも見られ、どの教科においても一定の成果へとつながっていると考えられます。また、数学においては、日ごろから説明する活動を行っている生徒自身が実感していることが、全国学力・学習状況調査の記述式問題にも現れ、全国より+15%という成果もありました。

一方で、ICT機器の活用には課題が見られます。情報の整理やプレゼンテーションの作成についてのICT機器の活用について問う質問紙では、全国より低い結果が明らかになりました。今後、各教科の授業だけでなく、道徳・総合・学活といった授業や専門委員会の活動の中で、意図的にICT機器の活用を仕組んでいきたいと考えています。

また、漢字や語彙力に課題が見られることが国語の結果から明確になっています。質問紙においても、「読書が好きか」という問いに対する「当てはまらない」を選択した生徒が全国より多くいました。「家にどのくらいの本がありますか」という質問紙では、全国並みの冊数が家庭にあるにもかかわらず、1日当たりの読書時間が10分以上と答えた生徒は、全国より8%少ない結果でした。今後は、活字に触れる機会を増やし、毎日の日記（デイリーライフ）や帰りの会のスピーチなど、日常から言葉の用い方や意味について考える機会をつくっていきたいと思います。引き続き、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。